



2021年5月25日

各 位

会 社 名 株式会社ケアサービス
(コード 2425 : 東証 J A S D A Q)
代表者の役職名 代表取締役社長 福原 俊晴
問 合 せ 先 執行役員 木高 毅史
電 話 番 号 03-5753-1170

中期経営計画の提出等について

当社は、2022年3月期～2024年3月期に係る中期経営計画を策定いたしましたので、当該中期経営計画を記載した資料を提出いたします。

なお、当該資料について、当社のホームページに掲載いたします。

URL	https://www.care.co.jp/ir/manage/strategy/
掲載日	2021年5月25日

【添付資料】 2022年3月期～2024年3月期 中期経営計画（新規）

2022 年 3 月期～2024 年 3 月期 中期経営計画(新規)

1 今後 3 ヶ年の中期経営計画

(1) 当中期経営計画提出時点における前連結会計年度の総括 (内容)

前連結会計年度におきまして、度重なる緊急事態宣言により、サービスの利用控えが続きましたが、各事業のオペレーションを見直し、材料費、消耗品、水道光熱費をはじめとするコストコントロールの徹底を行い、本社共通部門の効率化、部門統合再編による労務費の削減など、経費圧縮を進め続けております。

国内事業では、営業・管理体制の一元化による事業運営の効率化、体制強化を目的とし、居宅介護支援事業及び訪問介護事業を展開する当社子会社「株式会社ひだまり」を 2020 年 10 月 1 日に当社へ吸収合併し、また、大田区のドミナントエリアにおける更なる市場シェア拡大のため、「株式会社広域社会福祉会」が運営する訪問介護事業を 2020 年 11 月 1 日に譲り受けました。なお国内既存事業所数につきましては、新規出店はございませんでしたが、デイサービスの統廃合による減店 2、エンゼルケアの事業所閉鎖による減店 1 により合計 103 事業所となりました。

また、サービス単価につきましては、当社を取り巻く環境は厳しいものの前期並みの水準で推移いたしました。

海外事業においては、「上海福原護理服務有限公司」のエンゼルケア事業において、エンゼルケアサービスの認知度の高まりにより施行件数が大幅に増加するなど、着実な事業成長を示しております。

その他の事業では、当社グループ子会社である、人材事業「株式会社ケアヒューマンキャピタル」が、介護業界を対象とした人材紹介サービスにおいて、登録者数の伸びに合わせ、事業拡大に向けた体制強化を図りました。しかしながら、緊急事態宣言下では外出自粛による選考プロセスの遅れなどの影響により、苦戦を強いられました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は 8,686 百万円（前年同期比 4.1%減）、営業利益は 304 百万円（前年同期比 148.3%増）、経常利益は 319 百万円（前年同期比 156.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は 190 百万円（前年同期比 21.2%減）となりました。

(2) 中期経営計画の策定の背景及び概要

(内容)

① 策定の背景

介護業界におきましては、国内の高齢化が更に進み、介護サービスの需要は高まっているもののサービスを担う人材の十分な確保が難しく、引き続き介護事業者の大きな経営課題になっております。また、昨年来の新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は、経済活動や消費動向に大きな影響を与えております。2021年2月よりワクチン接種が開始されましたが、変異株の感染が拡大していることもあり、依然として収束時期が不透明な状況が続いており、お客様の利用控えなど厳しい状況が続くと想定しております。

国内葬儀業界におきましては、葬儀の多様化により、葬儀単価は下落傾向であり、更に新興企業の台頭により競争も厳しくなっております。

中国におきましては、エンゼルケアが認識され始め、今後、市場は拡大していくと想定しております。

② 中期経営計画の概要

当社グループは、2022年3月期を、守りから攻めへの転換期と位置づけ、「成長拡大」と「品質向上」を両立させ、国内外に向けて当社グループの「介護からエンゼルケアまで」の一貫したサービスをシニア向け総合サービス業へと更に事業を拡大し、アジア圏の大都市への展開も目指してまいります。

<在宅介護サービス事業>

- ・東京23区を中心としたドミナント戦略の推進及びドミナントエリア内の事業所の効率化、人員の最適化
- ・各介護サービスにおけるサービス品質の向上
- ・中国での介護事業の拡大
- ・介護・医療業界向け人材紹介及び人材派遣の拡大

<シニア向け総合サービス事業>

- ・各地域の優良な互助会及び葬儀社と構築した良好な関係の維持・発展による営業基盤の充実化
- ・国内における事業所の拡大
- ・中国での国営葬儀場に対するエンゼルケア事業推進

(3) 事業の進捗状況及び今後の見通し並びにその前提条件

(内容)

当中期経営計画は新中期経営計画の初年度にあたるため、進捗状況については該当ありません。

2 今期の業績予想及び今後の業績目標

(単位：百万円)

(%表示は対前期増減率)

		2021年3月期 (実績)		2022年3月期 (予想)		2023年3月期 (目標)		2024年3月期 (目標)	
		金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
売上高	在宅介護サービス事業	6,476	△0.6	6,897	6.5	7,341	6.4	7,788	6.1
	シニア向け総合サービス事業	2,210	5.6	2,380	7.7	2,666	12.0	2,992	12.3
	合 計	8,686	△4.1	9,278	6.8	10,007	7.9	10,781	7.7
営業利益		304	148.3	368	20.8	492	33.8	628	27.5
経常利益		319	156.3	372	16.5	501	34.8	636	26.7
親会社株主に帰属する 当期純利益		190	△21.2	229	20.5	318	38.6	396	24.3

- 業績予想及び業績目標の前提条件・数値根拠
(内容)

※ 2022年3月期 予想

- 在宅介護サービス事業では、3事業所の新規開設を予定しております。
- シニア向け総合サービス事業では、1事業所の新規開設を予定しております。
- 人材事業子会社により人材紹介事業の拡大を予定しております。
- 上海にて介護事業及びエンゼルケア事業の拡大を予定しております。
- 既存事業における周辺業務の連携の強化を図ります。

※ 2023年3月期 目標

- 在宅介護サービス事業では、3事業所の新規開設を予定しております。
- シニア向け総合サービス事業では、4事業所の新規開設を予定しております。
- 人材事業子会社により人材紹介事業の拡大を予定しております。
- 上海にて、介護事業及びエンゼルケア事業の拡大を予定しております。
- 既存事業における周辺業務の連携の強化を図ります。
- 新規出店に伴う売上の増加による増益を見込んでおります。

※ 2024年3月期 目標

- 在宅介護サービス事業では、5事業所の新規開設を予定しております。
- シニア向け総合サービス事業では、3事業所の新規開設を予定しております。
- 人材事業子会社により人材紹介事業の拡大を予定しております。
- 上海にて、介護事業及びエンゼルケア事業の拡大を予定しております。
- 既存事業における周辺業務の連携の強化を図ります。
- 新規出店に伴う売上の増加による増益を見込んでおります。

以上